

日ごろから市政の各般にわたり、ご理解と温かいお力添えをいただき厚くお礼申し上げます。

貴団体からの再要望につきまして、担当課に話を聞くよう指示し、9月16日に懇談したことについて報告を受けました。

まず、貴団体のご要望であります、必要なときに連続して1・2週間利用ができる練習場の確保については、現状の公共スポーツ施設のルール上は難しいものと思います。あらためて、担当課へ貴団体からの相談に応じるよう指示しましたので、総合体育館や学校開放施設の利用状況について話し合いをした中で、利用可能な練習場所の確保に努めていただければと思います。

次に、小中学校の再編による空き施設を武道場へ転用するというご提案についてであります。小中学校の学校再編については、現在、平成23年度までに量徳小学校が閉校となりますが、跡地に市立小樽病院が建設されます。また、他の学校については、教育委員会が保護者や地域の皆さんと懇談を進めている段階であり、現状では跡利用の議論とはなっておりません。

今後の学校再編の動向については、市ホームページなどで情報発信してまいりますのでご覧いただければと思います。

また、武道の必修化については、前回申し上げたとおり、各学

校において決定したものと聞いております。

今後、当市の武道を含むスポーツ振興については、貴団体を含む各武道団体、小樽体育協会、スポーツ関係機関と協議し取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

終わりになりますが、貴連盟のますますのご発展と後藤会長はじめ会員各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成23年 9月28日

小樽剣道連盟会長 後藤 言行 様

小樽市長

伊松義治